

もくじ

FISUEL 情報	1
アシスタント Annie Besançon への謝辞	2
FISUEL : 新組織 2020 年 1 月 1 日	2
ECA — 未だに残る大規模火事災害のリスク、大手業界団体語る	3
Qualibat、Qualifelec、Qualit'ENR が EDF と連携	4
現状における電気利用者の安全	6
市場監視に関する新欧州規制 (2019/1020)	7
セネガルにおける COSSUEL の創設	9
3 つの WG の活動の融合	10
東京開催 2020 年度 FISUEL 年次大会	11



FISUEL情報

一貫したニュースレター発行のために

みなさまの寄稿により、ニュースレターが引き続き充実したものであり続けていることに感謝いたします。FISUELニュースレターで取り上げてほしいトピックがある方は、写真付きのページを patrick.aubelis@fisuel.org または benoit.dome@fisuel.org までお送りください。

2019年と2020年のFISUEL会議の今後の日程

- AWG、アフリカワーキンググループ：2019年12月、コートジボワールのアビジャンにて
- APWG、アジア/太平洋ワーキンググループ：電子メールによる月次のコミュニケーション
- EU / MO WG、ヨーロッパ中東ワーキンググループ：2019年12月または2020年初め、ペイルートにて
-
- 理事会は、Eメールによる会議が2020年3月、2020年5月には日本で開催されます。
- 2020年度の年次大会は2020年5月11日～15日、東京で開催されます。総会とシンポジウムを含みます。

ニュースレターはウェブサイト www.fisuel.org で入手することができます。

FISUELウェブサイト：

現在作成中のFISUELの新ウェブサイトは、アクセス性が向上し、より親しみやすいものとなります。構成としては、FISUELの枠組みの中で2002年以降に実現した多くの業務やプレゼンテーションとの適合が図られています。2020年の前半に開設の予定です。

備考

- FISUEL宛て郵便物の住所：FISUEL – 21 Rue Ampère、75017 Paris France
- 管理上の連絡窓口：Patrick Aubelis：patrick.aubelis@fisuel.org
- 電話番号：+ 33 (0) 6 86 51 84 92
- 本部：21 rue Ampère, Paris, 75017, France
- **2020年3月のニュースレターでは、この他の情報も提供します。**



アシスタント アニー・ブザンソンへの謝辞



アシスタントのアニー・ブザンソンは当連盟での任務を終え、2020年1月1日付で我々のものを去ることになりました。アニーは長年にわたり、献身的に職務を全うしてくれました。加盟団体が世界中に散らばる国際的な連盟の組織運営、財務管理には厳しい困難を要しました。

ドミニク・デムーラン会長、そしてFISUELの加盟団体を代表して、私たちはアニーのこれまでの質の高い責務遂行に感謝し、新たな職務の機会を有効に活用され、ご活躍されることを心から願っています。

FISUEL : 新組織 2020年1月1日

アニー・ブザンソンの2020年1月1日付の退職を受け、パトリック・オーベリスが事務局長に任命され、連盟を支えるサポート業務や全ての管理業務が、その職責に含まれます。

FISUELの技術管理において同氏の補佐をするのが、副代表に任命されたコンサルタントのブノワ・ドームです。会計担当は引き続き、ブリジット・パトーが務めます。

この新組織は、10月9日にフランスのパリで開催された理事会で承認されています。それぞれの電子メールアドレスは、patrick.aubelis@fisuel.org、およびbenoit.dome@fisuel.orgです。

また、連盟の中心的役割を担うのは、以前と変わらず3つの地域ごとのワーキンググループです。

ワーキンググループ — ヨーロッパおよび中東

WGEuMEの組織：

- 会長：ドミニク・デムーラン理事長
- 幹事：マルク・マスロウスキー
- 幹事補佐：ブノワ・ドーム

次回会議は2020年初頭に開催予定

ワーキンググループ — WG アジア太平洋地域

WGAPの組織：

- 会長：中村秋夫理事長
- 幹事：ムニョンバク
- 副補佐：選任予定

FISUELの各加盟団体は遠距離で隔てられていることから、連絡は電子メールで行われます。

ワーキンググループ — WGアフリカ

WGAの組織：

- 会長：ジャン＝クロード・クワシ理事長
- 副幹事：ママドゥ・ラミンダイヤおよびママドゥ・シラ

次回の会議はコートジボワールのアビジャンで2019年12月開催。

Fisuel GS — Patrick Aubelis

英国電気請負業協会(ECA) — 未だに残る大規模火災災害のリスク、 大手業界団体語る¹

「レイジング・ザ・バー（バーを上げる）」協議への反応として、電気事業者団体ECAでは未だに技能不足の作業員の作業により、火災にさらされる危険性があることを強調しています。

死者が発生したグレンフェル・タワー火災を受け、技術業務に関する大手事業者団体ECAは、レイジング・ザ・バー協議への反応として、更なる住宅火災悲劇が起こるリスクを挙げています。ウェストロンドンの高層ビル群で起きたグレンフェル・タワー火災をきっかけに、公共の安全性の確保は、設置者の能力にかかっていると、複数の調査が結論付けています。これは特に、住宅用のタワービル群、介護施設、病院などの建物にieることです。しかし、電気技術業界では、実際には数週間の教育しか受けていない者でさえも、自分が有能な電気技師であると主張する者は大勢います。

ECAのCSR担当理事ポール・リーブは次のようなコメントをしています：

「グレンフェルの悲劇に関して今週発表された調査結果では、無抵抗な居住者や、その建物で働く者や建物の工事に携わる者については、必ず十分な能力を持った人員を確保することが急務であり、生死を分ける重要な問題であることが強調されています。

「住宅を火災から守る安全を確保することがテーマであることを、私たちは皆、心する必要があります。電気や火災からの安全性確保においては、低水準の能力を看過してはならず、特に、住宅や同様の物件の電気系統の設計や設置において有能であると勘違いされている、いわゆる「5週間の奇跡」には、ついに別れを告げる時がきました。

「ECAは、当セクターの対応について、今後の方向性を示すものです。私たちは低い能力水準に満足してはならないのです。さもなければ英国で再びこのような大規模火事による悲劇が発生することになるでしょう」。レイジング・ザ・バーは「Steering Group on Competence（能力に関する運営グループ）」が「安全性の未来を構築する」ために策定したものです。ECAはその反応の中で、設置業者の技能に関して5つの推奨事項を提唱しています：

- 全ての工場は必ず、認定された第三者による認証を受けること。
- 作業員は必ず、能力に基づいて、法定外ではあるがレベル2か3の資格を有すること。ECAでは新規従事者については技術見習い制度を推奨。
- 電気技術セクターは、電気技術認証カード制度（ECS）を使用する必要がある。
- CPD(技術士会)は、従事者の最新の規制や動向への批准を確保すべきである。
- 設置者は必ず、標準化、義務化された教育を通じて、建物における火災安全性に関する中核的な関連知識を身につけている必要がある。

「レイジング・ザ・バー」協議は、グレンフェル・タワー火災に関するジュディス・ハッキット女史によるレビュー後に行われたものです。

詳細については、以下にお問い合わせください：オマール・カリル、ECA、コミュニケーション・マネージャー、電話：07971 141 934 | omar.khalil@eca.co.uk.

ECAとその加盟企業について：

ECAは、地域、国、ヨーロッパのレベルでイングランド、ウェールズ、北アイルランドの電気、電気技術、その他の技術請負業者を代表する英国最大の業界団体です。ECA加盟企業は、厳密な審査のうえで加盟が承認されます。加盟企業の年間総売上は60億ポンドを超え、住宅および商業セクター全体に設計、設置、検査、試験、保守、監視などの業務に携わっています。その業務範囲は、電力・照明からデータ通信、エネルギー効率性と再生可能エネルギー、さらには最先端のビル制御技術の設計と設置にまで及びます。

ECAの加盟企業は2,700社近くに上り、中小の電力会社から、英国内の主要プロジェクトで数千人の専門家を雇用する全国規模の技術請負業者やビル・サービス企業にまで及びます。また、ECA加盟企業では、年間に5,000人以上の見習いのサポートも行っています。

www.eca.co.uk

¹ 詳細については、以下にお問い合わせください：Omar Khalil, ECA, コミュニケーション・マネージャー、電話：07971 141 934 | omar.khalil@eca.co.uk.

Qualibat、Qualifelec、Qualit'ENRがEDF(フランス電力公社)と連携

2019年10月17日 プレスリリース

QUALIBAT, QUALIFELEC, QUALIT'ENRは EDFとの連携で質の高いエネルギー再生への取り組みを共同で強化

政府は、断熱改修詐欺対策としての行動計画を間もなく始動すると告知していますが、Qualibat、Qualifelec、Qualit'EnRの3つの資格認定機関は、設置時の技術力向上を目指し、EDFとの大規模なパートナーシップが最終決定に至ったと発表しています。特に「DOにコミット」という憲章の枠組み立ち上げに伴い、この共同取り組みでは、悪い慣行との調整をまとめることが出来るようになります。

建物による最終エネルギー消費量は45%、温室効果ガスの排出量は27%に及ぶことから、建物はエネルギーと気候問題の大きな部分を占めていることがわかります。従って、住宅の改修は地球温暖化対策の中心であり、フランス市民の購買力向上にも寄与します。

改修工事は「RGE」資格を有する62,000社の何れかが実施し、依頼の大半は、屋根と低床の断熱工事で、2019年1月のCoup de Pouce Chauffageの立上げ以来、ガスボイラーとヒートポンプの交換依頼も急増しています。

これに関連して、エネルギー改修に全面的に関与しており「FAIREにコミット」憲章の署名者でもある3団体 — Qualibat、Qualifelec、Qualit'EnR — と、EDFとが、高品質な仕事への取り組みを強化するために手を結びました。

このパートナーシップの目標は、リフォーム・セクターで顧客の信頼を維持することです。その為にこの4団体は：

- 顧客の苦情に関する情報を交換する。
- 品質に欠陥があると認定を受け、EGR資格、またはEDFとのパートナーシップから除外された企業名を共有する。
- 署名者による協定の実施をモニターする目的で定期的に会合を持つ。

「この連携は、優れたパフォーマンスで顧客満足を実現し、省エネルギー証明書を発行するエネルギー移行に関与するプレーヤーと、企業の資格認定を最善かつ議論の余地のないかたちで行える立場にありたいRGE資格認定者が話し合える良い機会となります。それには、義務を尊重しない業者などをより適切に管理する為、情報源を現在の数倍に増やす必要があります」とQUALIBAT会長のアラン・モーガードは話します。

「以前から当協会の加盟団体であったEDFとの今回のパートナーシップは、私たちの資格制度を強固にしてくれるものです。当協会の資格は、エネルギー改修の一環として、企業が必要なビジネススキルをはじめ、各機器に求められる技術的手順を熟知していることを消費者に対して保証するものです。また、設置以外にも、機器のメンテナンスに費やす時間に投資する企業を大切にしています。EDFの認定パートナー企業のモニタリング、カウンターリファレンスの迅速な特定、そして消費者の支援のおかげで、本当の意味で効率的なエネルギー再生市場のための最善慣行を促進したいと考えています」とQUALIFELEC会長のイヴ・ジャラジャースは説明します。

「国が定めるメカニズムでは、エネルギー改修関係者に対する信頼が高められるとともに、サポート制度が賢く活用されることも保証されます。RGE企業の大半は質の高い仕事をしているので、有能無能を区別し、公約を強固なものとするのが重要です。利害関係者間の協力を強化して悪徳業者が網の目からこぼれてしまわないようにすることは、顧客、また規則を尊重する専門家の利益の為に、不可欠です」と話すのはQUALIT'ENR会長のアンドレ・ジョフルです。

QUALIBATについて ² :

Qualibatは、1949年に 建設大臣、そして起業家、建築家、建物所有者の専門組織の主導で設立され、建設分野で事業を行う企業の専門技能と能力の評価、認定の要請に対し、専門資格及び事業認定を行っています。

Qualibat認定を受けた企業は62,000社を超え、そのうち52,000社はEGR（排気再循環Exhaust Gas Recirculation）マークを取得しています。

QUALIFELECについて ³ : :

Qualifelecは、電気およびエネルギー・セクターの資格関連機関です。1955年の設立以来、電気およびエネルギー設備の利用者の利益に資するべく、その資格制度を通じて企業資格を認証することで、このセクターの継続的な改

² <https://www.qualibat.com/> -

³ <https://www.qualifelec.fr/>

善に取り組んできました。Qualifelecは、すべての市場参加者による幅広く一貫した参画と、堅実で客観的な資格制度により成り立っています。また、業界での監視と評価において完全に独立した組織であり、消費者にとって信頼性の高い品質の印として認知されています。

QUALIT'ENRについて⁴ :

Qualit'EnRは、フランスの再生可能エネルギーの開発を支えるために2006に設立された非営利団体です。この業界の主要なプレーヤーを統合するQualit'EnRの目的は、高品質な専門性の提供と個人との緊密さに焦点をおくことにより、信頼を通じて業界の発展に貢献することです。これを実現するために、Qualit'EnRでは、認められた品質シンボルにより設置会社に次のような資格を発行し、これらはすべて公的機関から「RGE」資格を受けています：太陽熱にはQualisol、太陽光発電にはQualiPV、木材エネルギーにはQualibois、ヒートポンプにはQualiPAC、地熱掘削にはQualiforage、復水ボイラーとマイクロ熱電併給にはHeating+。Qualit'EnRは現在、20,000を超える有効資格を擁しています。

2019年10月17日 プレスリリース

⁴ <https://www.qualit-enr.org/>

現状における電気利用者の安全

新設のもの、既存のものを含め、家庭用電気設備利用者の安全は世界的な関心事です。

新しい建物での電源火災や感電死などの電気事故を最小限に抑えるための技術的な取り決めに明確にするために、国を問わず、標準化が行われています。したがって、新しい電気設備はこのような枠組みの中で、試運転で実施されることもある検査手順により、これらの規定への準拠が保証されます。

1980年代以降、年月が経つにつれて、既存の電気設備の維持は、その設備の居住者(占有者)と技術の進化に依るところが大きいと各国で認識されるようになりました。大半の国で、基準への適合は遡及的ではないため、老朽化した電気設備の利用者の安全性を認定する基準を別途定める必要があると考えられました。

そのようにして、既存の電気設備の評価に常識的なルールを適用するために、基本的な項目に基づいた考え方が誕生してきています。これは次のような6つの部分に定義することができます：

1. 迅速かつ独自の方法で住宅に設置することを完全に停止する。
2. 最も一般的に使用される家庭用電化製品の漏電を安全に逃がすために、アースの配線網を備える。
3. 直接および間接的な接触のリスクから人を保護する為、保護用の電気機器を備える。
4. 電気導体の加熱をある一定以上にしないよう制限するために、温度調整装置を備える。
5. 浴室で、人が水に浸かっていたり、水がかかっている状態で、電圧がかかり絶縁が不十分な機器に直接触れた場合のリスクを排除する。
6. 通電している非絶縁部品に直接触れるリスクをすべて排除する。

これらのシンプルかつ効果的な原則により、日本や韓国など一部の国では、これらの基準のいくつかに基づいて定期的な監査が行われています。

今日、FISUELがワーキンググループを通じて提案する活動の1つは、このアプローチに関するFISUELの合意文書を作成することです。使用される配電システムがどのようなものであっても、上記項目を多くの国に比較的共通したかたちで適用できるということは、この目的の達成に資するものです。

2020年のFISUEL行動計画により、この活動の具体化が可能になります。古い電気設備の利用者の安全に貢献するという観点からみて素晴らしいプログラムです。

FISUEL会計係 — Marc Maslowski

市場監視に関する新欧州規制（2019/1020）

これまで、ヨーロッパの市場監視は、2008年（765/2008）に制定された規制によって管理されてきました。欧州委員会は2017年の終わりに、この規制を域内市場の新しいトレンドや慣行に適応させるための提案を行っています。この点で考慮される主な項目は、インターネットによる通信販売の増加、プレーヤーの多様性、市場監視機関（ASM）の財源の減少が続いていること、大量の非準拠製品が見つまっていることです。新たな規制ということになります。

2019年6月25日には、18か月以上に及ぶ委員会、議会、欧州理事会の間の立法プロセスが行われた後、2019/1020という名称で新規制が公開され、2021年7月16日から完全に適用可能となります。この新規制は、前規制765/2008の第15条から第29条の各条項に取って代わるものです。

この新しい内容の主たる目的は次の事柄に関係しています：

- 非食品製品の市場監視強化
- 事業者が尊重すべきルールの明確化
- 各加盟国の監督当局間の協力強化
- 関係当局と事業者間の協力関係醸成の可能性

第4条では以下のように事業者の新定義が追加されています：連合内に設立された注文履行サービスプロバイダー。言い換えると、ヨーロッパの顧客にサービスを提供する倉庫をヨーロッパ域内に持つ事業者を指します。これらの事業者は、これまでは責任を免除されていましたが、今後は製造業者、輸入業者、または代理店と同様に、流通する製品の適合性について責任を負うこととなり、特に表示に関しては同じ義務を負い、連絡先の住所も必要です。この新しい分類には、ヨーロッパに独自の流通基盤を持つ大手の電子商取引企業が含まれます。郵便事業者や製品の配送のみを行う業者は、本規則でいうところの事業者とはみなされません。

事業者に課される義務には次のものがあります：

- 適合宣言を証明すること。
- 技術ファイル（製品を説明する一連の文書であり、製品が品質管理システムの要件に従って設計されたことを証明できる）の存在を証明すること。
- これらの文書を当局が自由に使用できること。
- 製品の適合性に疑問がある場合は、当局に通知すること。
- 不適合の是正においては、当局と協力すること。

第6条には、通信販売に関する詳細が規定されています。

「オンラインまたは他の通信販売手法で販売された製品は、エンドユーザーが連合内で提供する場合、市場で入手可能とみなされます。販売の申し出は、関係する事業者が、手段の如何に関わらず、加盟国向けに活動を行う場合、連合のエンドユーザーを対象としたものであるものとみなされます。」

第9条は、おそらくASECに最も関係しており、その活動を正当化する条項です。

実際、この条項には「**法律の順守を促進するための共同活動の可能性**」が述べられています。

法令順守以外にも、不適合製品検出、意識の向上、さらにはオンライン販売製品を含め、深刻なリスクを呈することが多いと特定の製品の分類に適用される法律上の指針提供を目的とした共同活動も推進しています。

当局と独立法人との間で締結される協定は、それが不正な競争を引き起こさず、当事者の客観性、独立性および公平性に影響を与えないことを保証されるものでなければなりません。

本協定に基づいて収集される全ての情報は、当局が調査に使用する場合があります。

最終的に、この協定は公開されなければなりません。

ASECは、その経験と活動分野から、フランス当局とこのような協力手順を確立するために全力を尽くします。

市場監督当局の役割、権利、義務および責任は、第10条から第28条に記述があります。特に、当局は、その有効性を高めるために、リスク分析に基づく活動を展開することが奨励されています。

また、「製品適合のための連合ネットワーク」の創設も想定され、当局と委員会間の調整機能と発展的な協力体制により、慣行業務の効率向上の合理化を目指します。

監督当局のみに開かれるこのネットワークは、議論されているテーマに応じてさまざまな利害関係者にとって魅力的なものとなります。

第31条には、このネットワークに割り当てられる役割と業務内容が指定されています。

これら目的の遂行とネットワーク機能するため、欧州連合は資金提供しています。

最後に、この規制は2026年12月31日までに委員会によって評価を受け、その後5年ごとに見直されます。委員会は、議会、評議会、および欧州経済社会委員会に、達成しようとする目標に対する規制の妥当性に関する報告書を提出しなければなりません。

この規制は、欧州連合法が掲載されるサイトから直接入手可能です。

Pierre Selva – Administrateurs Membres de Fisuel

セネガルにおけるCOSSUELの創設

COSSUELセネガル電気利用者安全委員会

セネガル共和国は、2017年6月8日の法令N°1333、ならびにこれを補足する2019年8月22日の適用法令N°022609により、電圧印加前に屋内電気設備の適合性管理を行うことを義務付けています。

これら2つの規定は、電気の使用に関する保安システムを強化するもので、電気事故の撲滅に向けて電気設備設置の安全性を確保するという当局の強い意志の表れであり、2019年8月に署名された申請令はこれを証明するものです。

COSSUEL（電力利用者の安全のためのセネガル委員会）は、民法および商法上の取り決めに基づき1968年3月26日付の法律68-08の下、1999年2月25日登録された非営利団体（受付番号109831）です。

その目的は、人と物品の安全確保の為、屋内設置の設計と施工に関して確立された規則を順守することを目的とした研究や活動を開発、実践することにあります。そのため、屋内電気設備の適合性に関する裏書き認証を、効力ある基準に従って発行する責任を有する組織として、2019年9月5日に石油エネルギー省によって承認されました。

協会の構成

協会はアクティブな会員のみで構成されます：

- エネルギー販売業者
- 電気設置業者の連合：フランス国立宇宙研究センター、CNP、セネガル商工会議所連合（UNCMS）
- 電力利用者：セネガル市長協会（AMS）、
- セネガルの組合消費者協会、建築家・住宅建設会社団体（SNHLM、SICAP）、建設協同組合、FSSA（セネガル連邦保険会社）、AGETIP…など

準会員は次の通りです：

- 市民保護局
- エネルギー部
- 都市計画および建築部
- 建設および住宅支部
- 環境局
- Consuel（フランス、電気ユーザー安全管理機関）

COSSUELのミッション

- COSSUELには次の3つの機能があります：
- 効力のある基準や規制への準拠を確認する機能
- あらゆる種類の屋内電気設備の機能を研究
- 安全基準を尊重するために、さまざまなタイプの設備を調和させる機能

COSSUELの重要性

COSSUELが参加します：

- 屋内設置を担当する電気技師の仕事の質の促進と強化。
- 原則を教わったあとの、アドバイスと推奨事項による電気技師の専門職能向上。
- 研修と組織化のニーズをより高く理解する電気技師の認知向上。
- この活動を通じて人と財物の安全を強化する。
- 設置時における利用者の快適さ

COSSUEL と Proquelec GD – FISUEL理事長 — Mamadou Lamine Dia

3つのWGの活動の融合

FISUELのダイナミズムの連続性である主要なラインを考慮に入れた、2019年と2020年のFISUELの主な方向性は次のとおりです：

現会員を維持する

モチベーションを高めるためには、FISUELのビジョンと付加価値をよりよく説明する必要があります。会員を巻き込み、会員とゲスト間での共有と交換を行い、常に国際的に高い評価を得てきた過去のダイナミズムを作り出す非常に優れた次回GAM 2020を催します。

新会員と新しい専門家を招き入れるためにトレーニングと説明を行う。

世界中で益々重要度を増す電力利用者の安全は、すべての国で現実的な課題です。誰もが、それを認識しています。世界中の誰もが、手頃な価格で安全で且つ持続可能な電力へのアクセスを望んでいます。地域での経験やスキルをお持ちの方は、お気軽にご連絡いただき、今すぐにも会員やワーキンググループの専門家となってください。FISUELが対象として定義するセクターは、住宅および非住宅です。

電気保安に多様性と優れた活動をもって貢献する。

FISUELは、新規および既存の、住宅および非住宅用の建物の電気安全に寄与するいかなる規範の最善な遂行をも共有したいと考えています。

- 新規設置時の検査と定期検査
- 再生可能エネルギー、電気へのアクセス
- 統計、測定、検出、メンテナンス
- 資格、技能
- 市場調査、不当な製品への対策など

追求すべき課題は数多くあり、その多くは実例が確実にどこかに存在しているはずですが、早めのご連絡をお待ちしています

FISUELの国際的なイメージを統合する

2019年末には、安全指標を盛り込んだFISUELの新ウェブサイトを開発します。それにより、気軽で精力的にコミュニケーションがとれるようになります。

ツイッターFISUELはダイナミックになりつつあり、各地域のツイッターでも活用されています。

ニュースレター受信者のネットワークはグローバルに広がっています。関心をお持ちの方がいらっしゃいましたらその方のメールをぜひお知らせください。

FISUELのウィキペディア・ページ作成も進行中です。

3地域での貢献を促進する

アフリカ、アジア太平洋、およびヨーロッパ中東、3つの地域ワーキンググループがあります。

これらのワーキンググループはFISUELのビジョンを統合するために力を尽くして貢献しており、FISUELの地域における中継者です。あらゆる専門家に、この仕事に貢献していただきたいと考えています。

全ワーキンググループの主なテーマは次のとおりです：

- 地域または国ごとの「電気安全」に関する具体的な行動計画とガイダンス
- FISUEL研修終了証明書の確立を通じた職業教育の承認制度
- 当連盟のライブラリに基づいた、コミュニケーション手段の開発（ニュースレター、最善慣行、ウェブサイト、ツイッター、ウィキペディア、YouTube、FISUEL招致案内、住宅電気安全のための欧州フォーラム、組織や各地フォーラム [UEMOA、CEMAC Pacific Ocean、ASEAN、シンガポールのエネルギー安全保障に関するフォーラム]、IEC組織など）
- 統計 — すべての人に持続可能なエネルギーを：当連盟の「Safety Barometer」ウェブサイト (<http://www.safetybarometer.org/>) と「rise.worldbank」ウェブサイト (<http://rise.worldbank.org/>) とをどのように繋ぎ、良好な相乗効果を生むか。



Benoit Dôme et Patrick Aubelis – Fisuel

電気保安協会全国連絡会の招きで東京で開催される2020年次大会

次回年次大会2020は東京開催

FESIA



FESIA(電気保安協会全国連絡会)は、FISUEL GAM(年次大会) 2020と国際シンポジウムを歓迎します。

FISUEL GAM2020 Tokyo Japan
11th to 15th of May 2020
"ELECTRICAL SAFETY ENHANCEMENT
by TECHNOLOGIES & SYSTEMS"

Venue & Schedule

- 11 May 14:30-17:30: Board Meeting
- 12 May 09:00-12:00: WG Meeting
- 14:30-17:30: GAM
- 13 May 09:00-09:50: Symposium Opening Ceremony
- 10:00-12:00: Panel Discussion
- 13:30-17:00: Symposium
- 14 May 09:00-09:50: Keynote Speech
- 10:00-12:00: Symposium
- 13:00-17:00: Symposium & Closing Ceremony
- 18:30-21:30: Gala Dinner
- 15 May 9:00-12:20: Technical Visit Learning Center
- PM Lunch → Tokyo Skytree
- 17:00: Return to the Hotel Villa Fontaine Tokyo-Shiodome

Conrad Tokyo
〒100-8558 東京都千代田区外神田 1-9-1
TEL: +81-3-6388-8000

FESIA
Forum of Electrical Safety Inspection Associations
Tel: +81-3-3581-2104
E-mail: fisuel-tokyo2020@denki-hoan.org

参加登録書、および特定の国からの来日査証申請方法は、11月6日水曜日にメールにて送信しました。

これは、11月6日水曜日に送信した、このイベントのスポンサーシップ募集に関連する文書と同じ内容です。これらの文書の再送をご希望の方は、次のアドレスでお問い合わせください：

patrick.ubelis@fisuel.org

すべての情報が必要な場合は、次のメールアドレスまでご連絡ください：fisuel-tokyo2020@denki-hoan.org

Patrick Aubelis SG Fisuel et l'équipe d'organisation GAM2020 au Japon